

新年明けまして おめでとうございます



課題の多い年のようです。

利用者と共に進む為に

社会福祉法人七峰会 理事長 奥田 稔

新年明けましておめでとうござ
います。皆様にはそれぞれに良い
お年を迎えた事を心からおよ
ろこび申し上げます。

旧年は介護保険法の見直し、障
害者自立支援法の全面施行が強行
されて、特に自己負担金について
問題が顕在化した年でした。

七峰会はどんな困難と直面して
も法人の掲げる理想のもと、施
設・事業所利用者を守る事と、そ
の事を仕事してくれる七峰会の
「働く仲間」の生活を守る事に取
り組んでまいりました。幸いにし
て弘前市若葉に造られた「わかば
地域福祉拠点」は障がい者福祉の
活動と高齢者福祉の活動に励む三
つの組織で、それぞれの職員集団
が努力し続けて事業を軌道に乗せ
順調に進展しています。また9月
に至って『山郷館くろいし』が事
業開始して黒石市に大型の活動拠
点をもつ事が出来ました。

措置時代に比べれば、障がい者
福祉、高齢者福祉共々に利用者の
福

自己負担、公費負担の低減等で問
題は多いながらも、社会保障の本
質に近づいた事だったと思います。

その中で知的障がいをもつ方々

に拓光園・拓心館のグループがケ
アホーム活動、就労支援活動の場
作りを新しい年の事業として取り
組み、国際障害者年運動で掲げた
「保護政策返上・社会参加への挑
戦」を法人の事業として進める条
件がそれぞれの基幹施設で具体的
な計画をまとめられ、これの実現に
当たる事といたしました。

障害者自立支援法の法意は、私
達はもとより永らく日本の社会福
祉に関わってきた者として支持で
きても、目的を達成する為には手
法、手段にもっと工夫を加え「無
理なく」進める事こそが社会福祉
事業の進め方であるべきで、問題
が多い法です。

今年も課題の多い年です。

どうぞ本年もお力添え下さいま
す様お願い申し上げて新年のご挨
拶といたします。

のじぎく兵庫大会

知的障害者
更生施設

拓光園

平成18年10月14日から16日まで
開催された全国障害者スポーツ大
会のじぎく兵庫大会に当園の柳谷
敬さんが出場しました。

柳谷さんは50m走、走り高跳び、
4×100mリレーと3つの種目に出
場、走り高跳びでは壮年の部で3
位という成績を残しました。リ
レーでもしっかりとバトンの受け渡
しができ、練習した甲斐があつた
と喜んで話していました。

大きな大会に緊張した様子の柳
谷さんでしたが、他の選手やス
タッフの人達とも交流でき、貴重
な体験になつた事と思います。
柳谷敬さんに負けないよう拓
光園も新年の飛躍を目指します。





黒石市のグループホーム 新居に引っ越し

知的障害者
通勤寮

拓心館



障害者自立支援法の本格施行により、拓心館のグループホームは『津軽生活支援センター』として48人定員のグループホーム・ケアホームになりました。新しい法律では、世話人さんが6人の利用者をケアすることになります。これまで黒石市にあった『北美住宅』は、4人しか住めない間取りになっていたため、広い家に引っ越しする必要がありました。

昨年秋に、黒石駅から約2kmの場所に6人が充分住める家が見つかりました。法人が買い取つてリフォームし、12月に引っ越しを行いました。

住所は、黒石市角田（かくた）という所で、『山郷館くろいし』から徒歩10分、駅まで30分、市役所まで20分、周りは新興住宅街というイメージです。

家の造りは、1階に食堂の他3室、2階に4室あり、全室個室にしても1室余る状況で余裕があります。1階、2階にトイレがあり、

南側が開けて明るい間取りになっています。改装直後で新しく、とても明るく住みやすい感じです。

ここには、黒石市に近い職場の方、黒石出身の方が住んでいます。今年も良い年でありますように…。

* * *

今年も良い年でありますように…。



労をねぎらう

社会就労
センター

旭光園

昨年11月22日、感謝祭のイベントとして、働く仲間みんなで「勤労感謝祭昼食会」を開催しました。「是非ともお寿司を食べたい。」という皆さんからの強い希望から『出張握り寿司』に決定しました。園長から、「日頃の仕事の頑張りを労い、健康で働く喜びをお互いに分かち合いましょう。」と挨拶がありました。

カウンターの前にはマグロ、ウニ、数の子、ヒラメ等のネタが並べられ、どれも目を見張るものばかり：職人の手で握られる寿司ネタは、芸術的美しさで魅了してくれました。

味は言うまでもなく一口食べると、口の中でシャリとネタが美味しさのハーモニーを奏でてくれました。



また同日、地元の「はすね保育園」園児の訪問があり、「毎日のお仕事、ご苦労さまで。」と元気いっぱいの声でクリスマスリースのプレゼントがありました。天使のようなかわいらしい園児の姿を見て、これからも元気に働いていこうと決意を新たにした一日でした。

ご存知ですか?

「介護サービス情報の公表」制度

特別養護老人ホーム
サンアップルホーム

新年明けましておめでとうございます。サンアップルホームグループより心からおよろこび申上げます。

さて、皆様は「介護サービス情報の公表」制度というのをご存知ですか? この制度は、介護保険法改正により平成18年4月から介護サービス事業所に介護サービス情報の公表を義務付けたものです。この制度の導入により、利用者や家族が、その情報を活用しながら、介護サービス事業所を比較検討し、選択することが可能になり、事業所においてはサービス改善の取り組みが促進され、介護サービス全体の質の向上が図られることが期待されています。

対象となるサービスは、訪問介護(有料老人ホーム、軽費老人ホーム)福祉用具貸与居宅介護支援・介護福祉施設サービス(特別養護老人ホーム)介護保険施設サービス(老人保健施設)です。

新年明けましておめでとうござります。サンアップルホームグループより心からおよろこび申上げます。

平成19年度からは、その他のサービスも順次追加されていきます。サンアップルホームグループでは、すでに、訪問介護・通所介護・特別養護老人ホームが調査を受けており、居宅介護支援は1月に行われます。

公表される「介護情報サービス」は

「基本情報」:事業者の運営主体、事業所名、営業時間、定員等の基本的な項目。

「調査情報」:介護サービスに関するマニュアルの有無、サービス提供内容の記録管理の有無などになります。

公表の方法は、指定情報公表センターからインターネットで行われます。

新しい制度につき、疑問点や詳細について知りたい方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

特別養護老人ホーム
サンアップルホーム

Tel 0172-97-2111



当事者の立場に立った
相談支援を基本に
身体障害者療護施設

山郷館



弘前市障害者生活支援センター

Tel 0172-31-2400

● 営業時間

9:00~17:00

● 休館日 水曜日

年末年始

(12/30~1/3)

そんな中、身近な相談所として「弘前市障害者生活支援センター」は、当事者の立場で、制度利用の専門的な相談から生活情報まで幅広い相談支援活動を行っています。場所は、弘前市上土手町の旧大成村事業等について、障がい者及び施設・事業者ともに情報が周知されなかつたり、確定していない内容も多く、たいへん混乱しています。されば自宅へ訪問しての相談も可能です。また、相談支援だけでなく、パソコン教室、手話教室、絵手紙教室など、互いの交流や趣味、社会活動の場として各種イベントも実施しています。直近では、昨年12月10日、クリスマス会(ホテルニユーキヤッスル)が盛大に行われました。各イベントを紹介した広報誌も発行していますので、お気軽に問い合わせください。

いわせてネット

弘前市立第四中学校では福祉体験学習として毎年何人かの生徒さんが拓光園を訪れ利用者とのふれあいの機会を持つっています。今回の『言わせてネット』ではその声をご紹介します。

知的障害の方と接するの
は初めてだったのですが、騒ぐ
人がいて少し驚きましたが、接
私たちと同じ人なので、接
する時はとても楽しいと思
いました。私は車椅子のお
ばあさんを連れて廊下を歩
きました。一緒に歩いてい
た人の中には元気にしゃ
べったりする人もいたので
思い出に残っています。私
の目を見ると笑ってくれた
り嬉しそうに話しかけてく
れる人たちもいたのですご
くうれしかつたです。

今日拓光園に行つて思つた事は、おじいちゃんおばあちゃんたちとふれあって楽しく思えた事と、私も福祉の仕事をしてみたいと思いました。いっぱい勉強をして福祉の仕事をしたいです。

谷下田
志帆



僕はデイサービスに行つて、来ている人と陶芸をやりました。陶芸は初めての体験でした。最初は話ができなかつたりしたけど、相手から話しかけてもらつてだんだん話せるようになり、とても楽しかつたです。あつという間でしたが、とても楽しかつたです。障害を持つていても普通の人以上に陶芸が上手くて驚きま

葛西
大輔

立ち寄った伝承工芸館・こけし館と共に知識と感動に満たされた秋の一日であつた事をご報告しますと共に平野御住職に心から感謝申し上げます。



**「山郷館くろいし」と
「黒森山淨仙寺」を訪ねて**

昨年11月3日に七峰会後援会の事業として、9月20日にオープンしたばかりの身体障害者療護施設「山郷館くろいし」の見学と「黒森山淨仙寺」を会員43名で訪れました。「山郷館くろいし」は東に八甲田の山並み、西に岩木山の眺望が素晴らしい、黒石の新興住宅地八甲に建設され広い敷地と環境が抜群でした。又、中での生活も個室ユニット型で落ち着いた家庭的な雰囲気が温かく感じられ随所に創意工夫が見られ、会員の皆さんも感心の様子で質問や利用者の皆さんとの会話もはずみ、予定時間をするかにオーバーするほどでした。その後、淨仙寺を訪れ、平野御住職のご好意によりお座敷を拝借しての昼食会は「山郷館くろいし」のことで話題が大きいに盛り上がりました。又、平野御住職が自ら入れてくれた名物のコーヒーは黒森山を背景とした紅葉の素晴らしさと静寂な自然の深みの中で、一段と香り高く味わえた事は、生涯忘れられない

七峰会後援会コーナー

「山郷館くろいし」と
「黒森山淨仙寺」を訪ねて